



**Count on it.**

オペレーターズマニュアル

**ブロア**

**Sand Pro®/Infield Pro® 3040 および 5040 トラクションユニット用**

モデル番号08759—シリアル番号 315000001 以上

## ▲ 警告

### カリフォルニア州 第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品に、  
ガンや先天性異常などの原因となる化学物  
質が含まれているとされております。

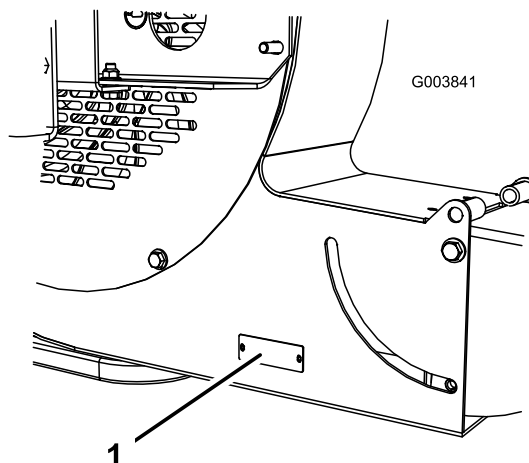


図 1

#### 1. モデル番号とシリアル番号の表示場所

モデル番号 \_\_\_\_\_

シリアル番号 \_\_\_\_\_

## はじめに

この清掃用ブロアは、乗用型の装置に取り付けて使用する専門業務用の製品であり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、集約的で高度な管理を受けている公園、ゴルフ場、スポーツ・フィールドその他の芝生において、風でゴミを吹き飛ばす方法によって清掃を行うことを主たる目的として製造されております。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からないまた適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのとはお客様の責任です。

弊社に直接おたずねをいただく場合 [www.Toro.com](http://www.Toro.com) 製品・アクセサリに関する情報、代理店についての情報、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1 にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号 図 2 を使用しております。死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから必ずお守りください。



図 2

#### 1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**「重要」は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

# 目次

安全について .....	3
トレーニング .....	3
運転の前に .....	3
燃料の安全な取り扱い .....	4
運転操作 .....	4
保守整備と格納保管 .....	5
搬送する場合 .....	6
振動レベル .....	6
安全ラベルと指示ラベル .....	7
組み立て .....	8
1 ブロアをトラクションユニットに取り付	
ける .....	8
2 リンクアセンブリを調整する .....	9
3 ブロアをグリスアップする .....	9
製品の概要 .....	10
仕様 .....	10
アタッチメントとアクセサリ .....	10
運転操作 .....	10
吐出口の調整 .....	10
使用のヒント .....	10
保守 .....	12
ブロアの潤滑整備 .....	12
ベアリングの整列調整 .....	12
ボルトナット類のトルク締め .....	13

# 安全について

間違った使い方や整備不良は人身事故などの原因となります。▲事故を防止するため、以下に示す安全上の注意や安全注意標識のついている遵守事項は必ずお守りください。注意、警告、および危険の文字は、人身の安全に関わる注意事項を示しています。これらの注意を怠ると死亡事故などの重大な人身事故が発生することがあります。

## トレーニング

- このマニュアルや関連する機器のマニュアルをよくお読みください。各部の操作方法や本機の正しい使用方法に十分慣れておきましょう。
- オペレータや整備担当者が日本語を読めない場合には、オーナーの責任において、このオペレーターズマニュアルの内容を十分に説明してください。
- 子供や正しい運転知識のない方には機械を操作させないでください。地域によっては機械のオペレータに年齢制限を設けていることがありますのでご注意ください。
- 周囲にペットや人、特に子供がいる所では絶対に作業をしないでください。
- 人を乗せないでください。
- 本機を運転する人、整備する人すべてに適切なトレーニングを行ってください。トレーニングはオーナーの責任です。特に以下の点についての十分な指導が必要です
  - 乗用機械を取り扱う上での基本的な注意点と注意の集中
  - 斜面で機体が滑り始めるとブレーキで制御することは非常に難しくなること。斜面で制御不能となるお 主な原因は
    - ◇ タイヤグリップの不足、特にぬれた芝の上で
    - ◇ 速度の出しすぎ
    - ◇ ブレーキの不足
    - ◇ 機種選定の不適當
    - ◇ 地表条件、特に傾斜角度を正しく把握していなかった
    - ◇ アタッチメントやカウンタウェイトの取り付けが正しくなかった。
- オペレータやユーザーは自分自身や他の安全に責任があり、オペレータやユーザーの注意によって様々な事故を防止することができます。

## 運転の前に

- 作業には頑丈で滑りにくい靴と長ズボン、および聴覚保護具を着用してください。長い髪、だぶついた衣服、装飾品などは可動部に巻き込まれる危険があります。また、裸足やサンダルで機械を運転しないでください。

- マフラーが破損したら必ず交換してください。
- 作業場所を良く観察し、安全かつ適切に作業するにはどのようなアクセサリやアタッチメントが必要かを判断してください。メーカーが認めた以外のアクセサリやアタッチメントを使用しないでください。
- オペレータコントロールやインタロックスイッチなどの安全装置が正しく機能しているか、また安全カバーなどが外れたり壊れたりしていないか点検してください。これらが正しく機能しない時には芝刈り作業を行わないでください。

## 燃料の安全な取り扱い

- 人身事故や物損事故を防止するために、ガソリンの取り扱いには細心の注意を払ってください。ガソリンは極めて引火しやすく、またその気化ガスは爆発性があります。
- 燃料取り扱い前に、引火の原因になり得るタバコ、パイプなど、すべての火気を始末してください。
- 燃料の保管は必ず認可された容器で行ってください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間に燃料タンクのふたを開けたり給油しないでください。
- 給油はエンジンが十分に冷えてから行ってください。
- 屋内では絶対に給油しないでください。
- ガス湯沸かし器のパイロット火やストーブなど裸火や火花を発するものがある近くでは、絶対に機械や燃料容器を保管格納しないでください。
- トラックの荷台に敷いたカーペットやプラスチックマットなど絶縁体の上で燃料の給油をしないでください。ガソリン容器は車から十分に離し、地面に直接置いて給油してください。
- 給油は、機械をトラックやトレーラから地面に降ろし、機体を接地させた状態で行ってください。機械を車両に搭載したままで給油を行わなければならない場合には、大型タンクのノズルからでなく、小型の容器から給油してください。
- 給油は、給油ノズルを燃料タンクの口に接触させた状態を維持して行ってください。ノズルを開いたままにする器具などを使わないでください。
- もし燃料を衣服にこぼしてしまった場合には、直ちに着替えてください。
- 絶対にタンクから燃料をあふれさせないでください。給油後は燃料タンクキャップをしっかりと締めてください。

## 運転操作

### ⚠ 警告

エンジンの排気ガスには致死性の有毒物質である一酸化炭素が含まれている。

屋内や締め切った場所ではエンジンを運転しないこと。

- 有毒な一酸化炭素ガスが溜まるような閉め切った場所ではエンジンを運転しないでください。
- 作業は日中または十分な照明のもとで行ってください。
- エンジンを掛ける前には、アタッチメントをすべて解除し、シフトをニュートラルにし、駐車ブレーキを掛けてください。
- 回転部やその近くには絶対に手足を近づけないでください。
- 運転には十分な注意が必要です転倒や暴走事故を防止するために以下の点にご注意ください
  - 隠れた穴などの見えない障害に警戒を怠らない。
  - 急な斜面を走行する場合には安全に特に注意する。小さな旋回をする時や斜面で旋回を行う時には必ず減速する
  - 急停止や急発進をしないこと。後退から前進全速への切り替えは、必ず一旦完全に停止して行う。
  - バックするときには、後方の安全に注意し、マシンの後部に人がいないことを十分に確認する。
  - 道路付近で作業するときや道路を横断するときには通行に注意する。常に道を譲る心掛けをもつ。
- オプションの牽引バーP/N 110-1375を装備している場合は、アタッチメントのオペレーターズマニュアルでヒッチへ最大負荷を確認して使用してください。
- 隠れて見えない穴や障害物に常に警戒を怠らないようにしましょう。
- 荷を引いたり、重機を取り扱う際には安全に十分注意してください。
  - 必ず所定ヒッチポイントを使用する。
  - 自分が安全に取り扱える重量の限度内で作業を行う
  - 急な旋回をしない。バックする時には安全に十分注意する。
- 道路付近で作業するときや道路を横断するときには通行に注意しましょう。
- ガードが破損したり、正しく取り付けられていない状態のままで運転しないでください。インタロック装置は絶対に取り外さないこと、また、正しく調整してお使いください。

- エンジンのガバナの設定を変えたり、エンジンの回転数を上げすぎたりしないでください。規定以上の速度でエンジンを運転すると人身事故が起こる恐れが大きくなります。
- 運転位置を離れる前に
  - 平坦な場所に停止する
  - 走行ペダルから足を離し、アタッチメントを降下させる。
  - 駐車ブレーキを掛ける
  - エンジンを止め、キーを抜き取る。
- 移動走行中や作業を休んでいるときはアタッチメントの駆動を止めてください。
- 次の場合は、アタッチメントの駆動を止め、エンジンを止めてください。
  - 燃料を補給するとき
  - 機械の点検・清掃・整備作業などを行うとき
  - 異物をはね飛ばしたときや機体に異常な振動を感じたとき。機械に損傷がないか点検し、必要があれば修理を行ってください。点検修理が終わるまでは作業を再開しないでください。
- エンジンを停止する時にはスロットルを下げておいて下さい。また、燃料バルブの付いている機種では燃料バルブを閉じてください。
- バックするときには、足元と後方の安全に十分な注意を払ってください。
- 旋回するときや道路や歩道を横切るときなどは、減速し周囲に十分な注意を払ってください。
- アルコールや薬物を摂取した状態での運転は避けてください。
- 機械が落雷を受けると最悪の場合死亡事故となります。稲光が見えたり雷が聞こえるような場合には機械を運転しないで安全な場所に避難してください。
- トレーラやトラックに芝刈り機を積み降ろすときには安全に十分注意してください。
- 見通しの悪い曲がり角や、茂み、立ち木などの障害物の近くでは安全に十分注意してください。
- 各部品、特に油圧関連部が良好な状態にあるか点検を怠らないでください。消耗したり破損した部品やステッカーは安全のため早期に交換してください。
- 燃料タンクの清掃などが必要になった場合は屋外で作業を行ってください。
- 機械の調整中に指などを挟まれないように十分注意してください。
- 必ず機械を停止し、アタッチメントを下げ、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止し、キーを抜き取ってください。また、必ず機械各部の動きが完全に停止したのを確認してから作業に掛かってください。
- 必要に応じ、ジャッキなどを利用して機体を確実に支えてください。
- 機器類を取り外すとき、スプリングなどの力が掛かっている場合があります。取り外しには十分注意してください。
- 修理を行うときには必ずバッテリーの接続と点火プラグの接続を外しておいてください。バッテリーの接続を外すときにはマイナスケーブルを先に外し、次にプラスケーブルを外してください。取り付けるときにはプラスケーブルから接続します。
- 可動部に手足を近づけないよう注意してください。エンジンを駆動させたままで調整を行うのは可能な限り避けてください。
- バッテリーの充電は、火花や火気のない換気の良い場所で行ってください。バッテリーと充電器の接続や切り離しを行うときは、充電器をコンセントから抜いておいてください。また、安全な服装を心がけ、工具は確実に絶縁されたものを使ってください。
- 油圧系統のラインコネクタは頻繁に点検してください。油圧を掛ける前に、油圧ラインの接続やホースの状態を確認してください。
- 油圧のピンホールリークやノズルからは作動油が高圧で噴出していますから、手などを近づけないでください。リークの点検には新聞紙やボール紙を使い、絶対に手を直接差し入れたりしないでください。高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こします。万一、油圧オイルが体内に入ったら、直ちに専門医の治療を受ける。
- 油圧系統の整備作業を行う時は、必ずエンジンを停止し、アタッチメントを下降させてシステム内部の圧力を完全に解放してください。
- 燃料ラインにゆるみや磨耗がないか定期的に点検してください。必要に応じて締め付けや修理交換してください。
- エンジンを回転させながら調整を行わなければならない時は、手足や頭や衣服をアタッチメントや可動部に近づけないように十分ご注意ください。特にエンジン側面の回転スクリーンに注

## 保守整備と格納保管

- 常に機械全体の安全を心掛け、また、ボルト、ナット、ねじ類が十分に締まっているかを確認してください。
- 火花や裸火を使用する屋内で本機を保管する場合は、必ず燃料タンクを空にし、火元から十分離してください。
- 閉めきった場所に本機を保管する場合は、エンジンが十分冷えていることを確認してください。
- 火災防止のため、エンジンやマフラー、バッテリーの周囲に、余分なグリス、草や木の葉、ホコリなどが溜まらないようご注意ください。

意してください。また、無用の人間を近づけないようにしてください

- Toro正規代理店でタコメータによるエンジン回転数検査を受け、安全性と精度を確認しておきましょう。
- 大がかりな修理が必要になった時、補助が必要な時Toro 正規代理店にご相談ください。交換部品やアクセサリはToro純正品をお求めください。他社の部品やアクセサリを御使用になると製品保証を受けられなくなる場合があります。

## 搬送する場合

- トレーラやトラックに芝刈り機を積み降ろすときには安全に十分注意してください。
- 積み込みには、機体と同じ幅のある歩み板を使用してください。
- 荷台に載せたら、ストラップ、チェーン、ケーブル、ロープなどで機体を確実に固定してください。機体の前後に取り付けた固定ロープは、どちらも、機体を外側に引っ張るように配置してください。

## 振動レベル

### 腕および手

右手の振動レベルの実測値 =  $0.58 \text{ m/s}^2$

左手の振動レベルの実測値 =  $0.78 \text{ m/s}^2$

不確定値  $K = 0.5 \text{ m/s}^2$

値は EN ISO 5395 に規定された手順に則り、Sand Pro 3040 のトラクションユニット モデル 08703 にこのブローを搭載して実測したものです。

### 全身

振動レベルの実測値 =  $0.69 \text{ m/s}^2$

不確定値  $K = 0.5 \text{ m/s}^2$

値は EN ISO 5395 に規定された手順に則り、Sand Pro 3040 のトラクションユニット モデル 08703 にこのブローを搭載して実測したものです。

# 安全ラベルと指示ラベル

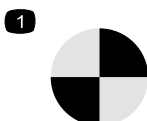


以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読めなくなったものは必ず新しいものに貼り替えてください。



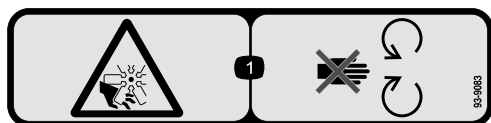
98-3110

1. 警告 オペレーターズマニュアルを読みトレーニングを受けること
2. 警告 聴覚保護具を着用のこと。
3. 飛来物による危険 オペレータは目の保護を行い、周囲の人を十分に遠ざけること。
4. 手足や指の切断の危険 可動部が完全に停止するのを待つこと



98-3111

1. 回転部



93-9083

1. ファンによる切傷や手足の切断の危険 可動部に近づかないこと。



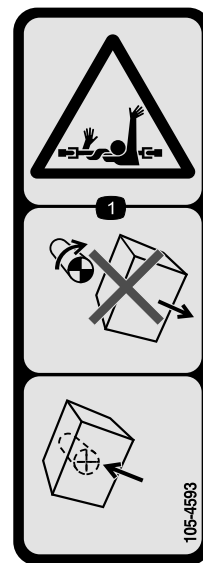
58-6520

1. グリス



106-5517

1. 警告 高温部に触れないこと。



105-4593

1. 回転軸に巻き込まれる危険 作動中にカバーを外さないことすべてのガード類を正しく取り付け使用すること。

# 組み立て

## 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	ブローアアセンブリ	1	ブローアをトラクションユニットに取り付けます。
2	必要なパーツはありません。	－	リンクアセンブリの調整を行います。
3	必要なパーツはありません。	－	ブローアをグリスアップします。

## その他の付属品

内容	数量	用途
オペレーターズマニュアル	1	この機械を使用する前に、マニュアルをよく読んでください。
パーツカタログ	1	パーツ番号を調べるための資料です。

**注** 前後左右は運転位置からみた方向です。

**注** ブローアを作動させるには、トラクションユニットに後部リモート油圧キット Model 08781 を搭載する必要があります。

# 1

## ブローアをトラクションユニットに取り付ける

### この作業に必要なパーツ

1	ブローアアセンブリ
---	-----------

### 手順

1. 機体後部についているアタッチメントをすべて外す。
2. トラクションユニットを後退させてアタッチメントのアダプタが真後ろになるように停車する。

**注** ロックレバー 図3 が、車体後ろから見て左側解除位置にセットされていることを確認してください。

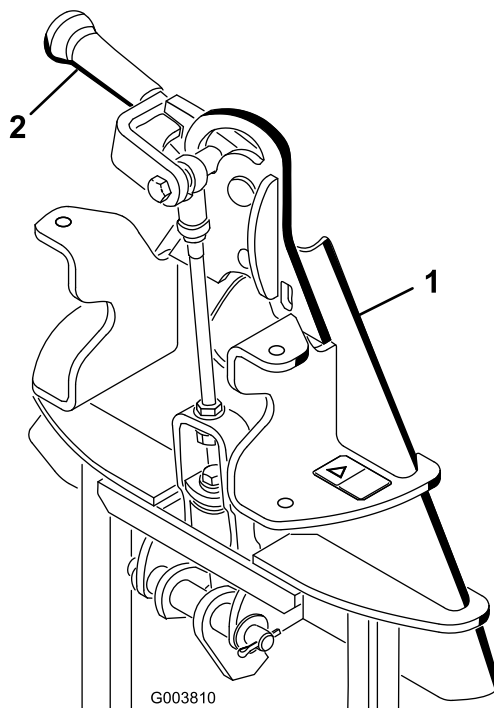


図 3

1. アタッチメントアダプタ      2. ロックレバー

3. トラクションユニットのアダプタを上昇させてアタッチメントアダプタに嵌め合わせる。
4. ロックレバーを右側に倒して、アダプタ同士をロックする。
5. アタッチメントの油圧カップラを、トラクションユニットの後部リモート油圧キットのカップラに接続する。



**重要** 油圧ホースのカップラを外した時は必ずカップラに栓をし、油圧装置内部に絶対に異物を入れないよう、細心の注意を払ってください。

## 2

### リンクアセンブリを調整する

必要なパーツはありません。

#### 手順

1. ブロアをトラクションユニットに固定した状態で、上昇させる。
2. 図4に示すように、上面のワッシャからアタッチメントアダプタのリンクアセンブリのスペーサまでの距離を測る。

**注** ワッシャとショルダ肩とのすき間が1.52.0mmあれば適正とする。

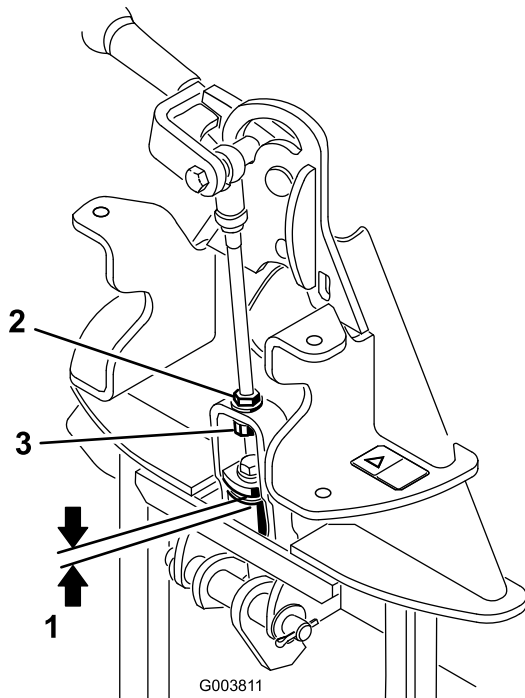


図4

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. 1.52.0mm | 3. 調整ナット |
| 2. ジャムナット   |          |

## 3

### ブロアをグリスアップする

必要なパーツはありません。

#### 手順

ブロアを使用する前に適切にグリスアップを行ってください。ブロアの潤滑整備(ページ12)を参照。この作業を怠ると重要部品の早期破損などのトラブルが発生しますから注意してください。

# 製品の概要

## 仕様

**注** 仕様および設計は予告なく変更される場合があります。

純重量	107 kg
-----	--------

## アタッチメントとアクセサリ

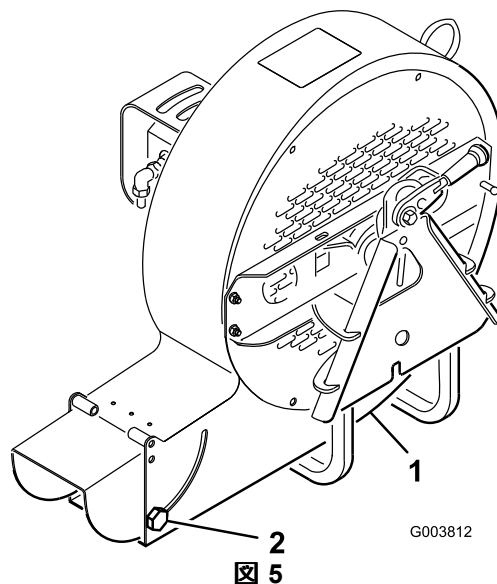
トロが認定した各種のアタッチメントやアクセサリがそろっており、マシンの機能をさらに広げることができます。詳細は弊社の正規サービスディーラ、または代理店へお問い合わせください。  
www.Toro.com でもすべての認定アタッチメントとアクセサリをご覧になることができます。

# 運転操作

## 吐出口の調整

吐出口 [図 5](#) を調整して風速や風量を変えることができます。吐出口を小さくすると風速が大きくなります。吐出口を大きくすると風速が小さくなります。

1. 吐出口デフレクタの取り付けねじをゆるめる [図 5](#)。



1. 吐出口デフレクタ
2. 取り付けねじ

2. デフレクタを回して、吐出口を希望する方向に向ける。
3. 調整ができたならねじを締め付ける。

## 使用のヒント

### ⚠ 警告

吐出口から噴出する風は非常に強く、まともに当たるとけがをする危険がある。

- ブロア作動中は排出口に近づかないこと。
- ブロア作動中は、排出口の周囲に人を近づけないこと。

ブロアの使い方を練習しましょう。自然の風が吹いている方向と同じ方向にゴミを吹き飛ばすようにするのが作業のコツです。

**注** アタッチメントのアダプタがトラクションユニットのアダプタに引っかかってしまった時は、ボールやドライバーなどをスロットに差し込んで外してください ([図 6](#))。

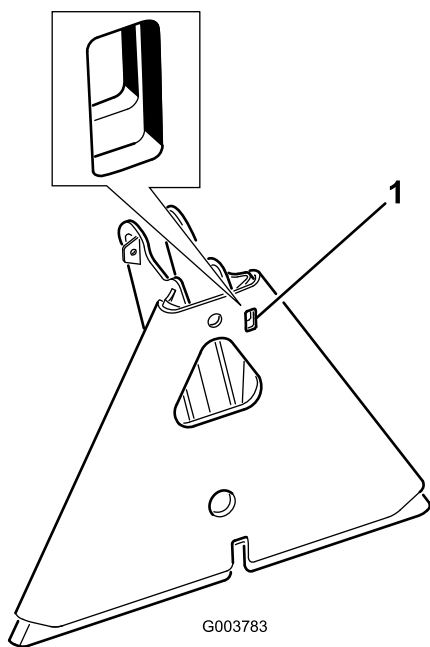


図 6

1. スロット

---

# 保守

## ブロアの潤滑整備

ブロアのファンシャフトのベアリング2個を定期的にグリスアップしてください。ベアリングはブロアハウジングの左右にそれぞれ1個ずつあります。通常の使用では8運転時間ごと、または使用するたびごとのうち早く到達した時期に、リチウム系汎用2号グリスを注入します。水洗いしたときは整備間隔に関係なく直ちにグリスアップしてください。

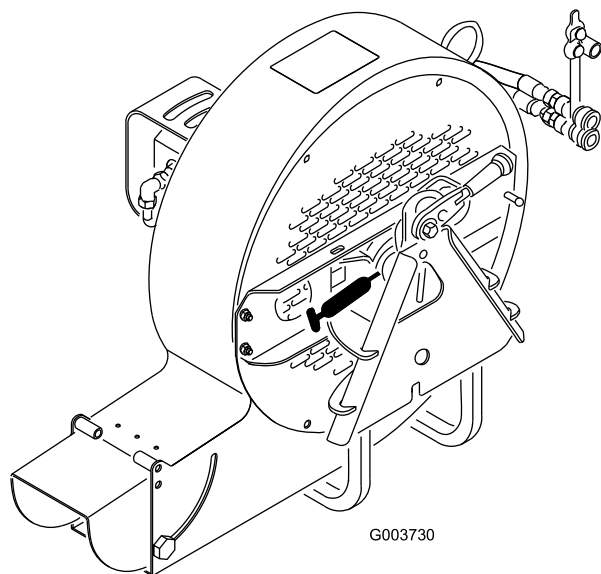


図 7

## アタッチメントアダプタのグリスアップ

アタッチメント側のアダプタのロックレバーの動きが悪くなってきたら、図 8 に示す部分に薄くグリスを塗ってください。

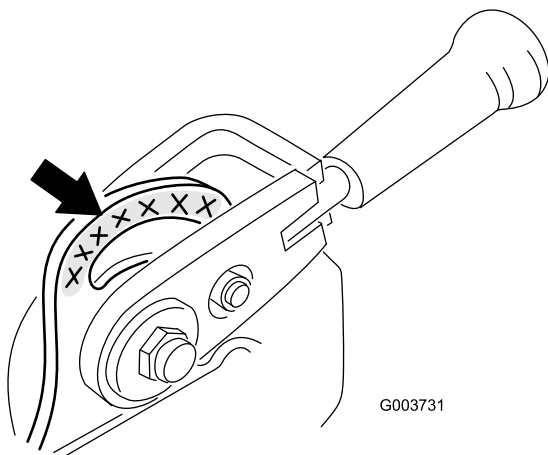


図 8

## ベアリングの整列調整

モータ取り付けブラケットを外した場合は、ブロアを作動させる前に必ず整列調整を行ってください。整列調整用工具のパーツ番号についてはパーツカタログを参照してください。

1. 取り付けブラケットがブロアハウジングに仮止め状態ボルトとナットが本締めされていないことを確認する 図 9。

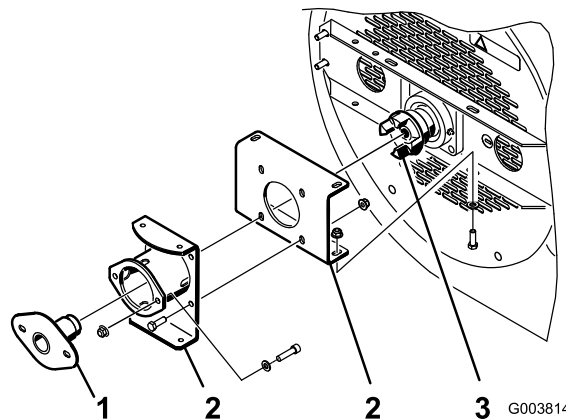


図 9

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 整列調整工具    | 3. ファンカップラ |
| 2. 取り付けブラケット |            |

2. 取り付けブラケットからファンカップラに、ベアリング整列調整工具を差し込む 図 9。

**注** カップラの中にカップラスパイダ 図 10 が入っていないことを確認しておく。

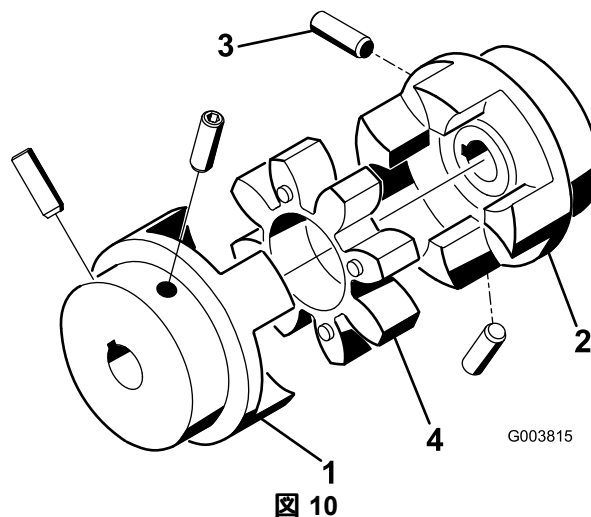


図 10

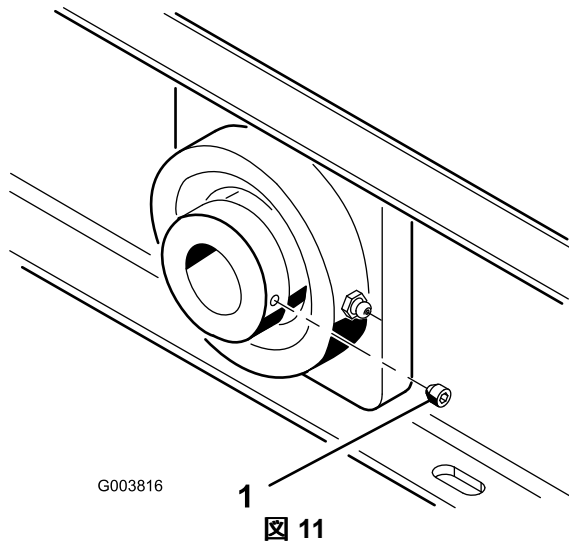
- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. モータカップラ | 3. 固定ねじ各2   |
| 2. ファンカップラ | 4. カップラスパイダ |

3. 取り付けブラケット同士をボルトとナットで締め付けて結合し、ブロアハウジングに固定する。
4. 整列調整工具を外して作業を終了する。

## ボルトナット類のトルク締め

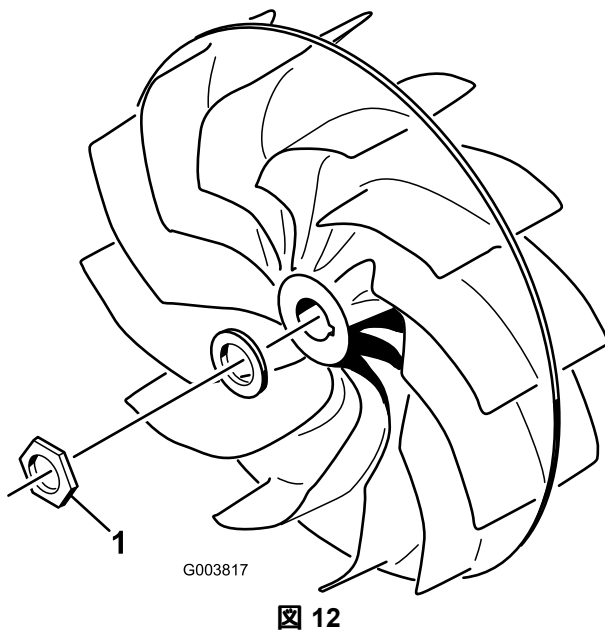
ブローを分解した場合には、以下のボルトナットについて、必ず規定通りのトルク締めを行ってください。その際、ねじ山部分にロックングコンパウンド除去可能なタイプを塗ってください。

- モータとファンシャフト・カップラ 図 10 の固定ねじは  $6.69.3\text{Nm}$   $0.70.9\text{kg.m}$  =  $5882\text{in-lbs}$  にトルク締めする。
- ファンシャフト・ベアリングの固定ねじ 図 11 も  $6.69.3\text{N-m}$   $0.70.9\text{kg.m}$  =  $5882\text{in-lbs}$  にトルク締めする。



### 1. 固定ねじ

- ファン取り付けナット 図 12 は  $678\text{Nm}$   $69\text{kg.m}$  =  $500\text{ft-lb}$  にトルク締めする。



### 1. ファンの取り付けナット

メモ

# 組込宣言書

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
08759	315000001 以上	ブローア	DEBRIS BLOWER	スカリファイヤ	2006/42/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子滴通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



David Klis  
上級エンジニアリングマネージャ  
8111 Lyndale Ave. South  
Bloomington, MN 55420, USA  
November 10, 2014

EU技術連絡先

Peter Tetteroo  
Toro Europe NV  
B-2260 Oevel-Westerloo  
Belgium

Tel. 0032 14 562960  
Fax 0032 14 581911



## Toro 一般業務用機器の品質保証

### 年間品質保証

#### 保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。  
\*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

#### 保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department  
Toro Warranty Company  
8111 Lyndale Avenue South  
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740  
E-mail: commercial.warranty@toro.com

#### オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

#### 保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、プレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

#### 米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

#### 部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するか判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

#### ディープサイクルおよびリチウムイオン・バッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオン・バッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後3-5年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

#### 保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

#### その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生する間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

#### エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。